

アリ類専門家へのヒアリング結果について

今回合会において、アリ類の指定を検討するにあたり、ヒアリをはじめとしたアリ類の生態や分類の専門家から事前にヒアリングを行った。

- 寺山 守氏(東京大学)
- 山根 正気氏(鹿児島大学名誉教授)
- 橋本 佳明氏(兵庫県立大学／兵庫県立人と自然の博物館)
- 辻 和希氏(琉球大学)
- 村上 貴弘氏(九州大学)
- 吉村 正志氏(沖縄科学技術大学院大学)

【結果概要】

ヒアリ類(ソレノプシス・ゲミナータ種群 *Solenopsis geminata* species group,
ソレノプシス・サエヴィシマ種群 *Solenopsis saevissima* species group,
ソレノプシス・トリデンス種群 *Solenopsis virulens* species group,
ソレノプシス・ヴィルレンス種群 *Solenopsis tridens* species group,
に含まれる23種及び各種間の交雑種)

○指定することの妥当性: 有

○主な意見等:

- ・ヒアリ、アカカミアリ以外は国内では確認されていないが、今後侵入する可能性がある。
- ・生態情報が得られていない種もあるが、基本形態が類似しており、交雑の実績もあることから、未然に対策を講じる観点から一括して指定することが妥当である。

ハヤトゲフシアリ(*Lepisiota frauenfeldi*)

○指定することの妥当性: 有

○主な意見等:

- ・侵略性に関するデータは少ないが、観察例からはアルゼンチンアリと同等の侵略性を持つと考えられる。
- ・侵入初期であり、早期対策を行う意義が認められる。
- ・科学的な知見が不足していることが懸念材料である。今後の知見の集積が必要。